

自転車を安全で快適にご使用いただくために！

ルラビーデラックス2リヤチャイルドシート取扱説明書

《品質保証書付》

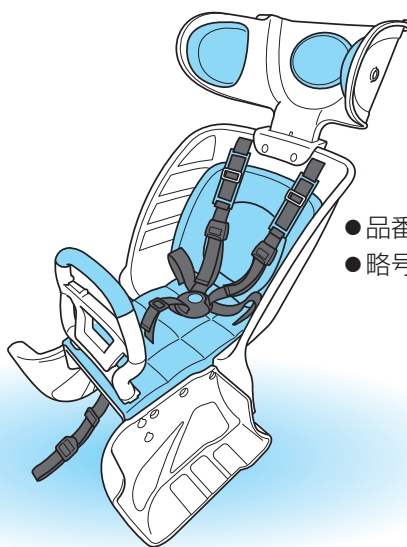
このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

⚠ 警告

- この商品は適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。正しく取り付けられていないままご利用された場合、事故またはケガにつながるおそれがあります。
- お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。
読まれたあとは大切に保管してください。
- 適合自転車、幼児の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合は、SG規格（製品規格）の補償対象外となる場合があります。
- 6歳以上のお子様を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償外となる場合があります。
※SGマーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

⚠ 注意

- このチャイルドシートは「幼児2人同乗基準適合車」に対応しており、幼児2人同乗の認定を受け、当該チャイルドシートを指定している自転車に装着した場合のみ、幼児2人同乗してご利用いただくことが可能です。
これ以外の車種に装着の場合は、幼児1名同乗でのご利用となります。
詳しくは、ご使用になる自転車の取扱説明書をご確認ください。



- 品番：A551521（色略号）
- 略号：RCS-LD4



- 原材料や市場の変化により、予告無しに仕様、外観を変更することがあります。
お買い上げの商品と取扱説明書に記載しているイラストが異なる場合がありますのでご了承ください。

— 目 次 —

●警告表示	2	●各部の名称	8
●はじめに	2	●チャイルドシートの操作方法	8
1. 乗車できるお子様とリヤキャリアの制限	2	1. シートベルトの調整	8
2. チャイルドシートを装着する自転車について	3	2. バックルの固定・解除	9
3. 取り付け時の注意	4	3. ヘッドガードの調整	10
●ご使用時の注意	5	4. フットレスト（足乗せ）の高さ変更方法	11
1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は	5	5. 背もたれ角度・座面の調整	12
2. お子様をチャイルドシートへ乗せ降ろしするときは	6	6. 簡易バスケットとして使用する場合	13
3. お子様をチャイルドシートに乗せたら	6	7. 安全ベルトについて	15
4. 走行時は	7		
5. 保管のしかた	7	品質保証書	16

ブリヂストンサイクル株式会社

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車が壊れるなどのおそれがあります。

表示の意味



警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



強制

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

はじめに

本商品をご利用にあたっては、以下に示すリヤキャリヤとお子様の制限をご確認の上、ご利用ください。

警告

- 推奨されていないリヤキャリヤへの組み付けや、制限体重を超えたお子様を乗せて、ご利用された場合、部品の早期破損折損が生じ、事故またはケガにつながるおそれがあります。
- チャイルドシート取り付けの前にリヤキャリヤを点検してください。サビがひどい状態やグラつきがひどい場合は、リヤキャリヤを交換して取り付けてください。

1. 乗車できるお子様とリヤキャリヤの制限

- 自転車に装着されているリヤキャリヤの仕様（強度区分）により異なります。
（JIS D9453：2010「自転車ーリヤキャリヤ及びスタンド」に準拠）

	リヤキャリヤの仕様（クラス表示）		
	MAX18kg以下表示 （クラス18以下）	MAX25kg表示 （クラス25）	MAX27kg表示 （クラス27）
自転車の荷台 最大積載質量	各クラスの荷重 （～18kg）	25kg	27kg
乗車可能なお子様の体重 （着衣を含む）	チャイルドシートは ご利用できません （キャリヤの強度が 足りないため）	8kg以上20kg以下	8kg以上22kg以下
適正年齢、目安身長		年齢：1歳以上6歳未満※ 身長：70cm以上115cm以下	

チャイルドシート重量：4.5kg（キャリヤへの取付部品含む）

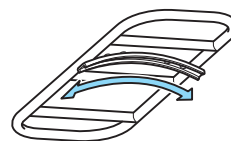
※お子様の適正年齢について：シートベルトは装着されていますが、体格には個人差がありますので、グリップを握れる2歳以上を推奨します。

- 上記範囲以外のお子様を絶対に乗せないでください。上記範囲の上限を超えてお子様を乗せると自転車の安定性が損なわれるおそれがあります。安全に運転が出来ることをご確認の上、ご使用ください。

- チャイルドシートの取り付けには、必ず、幅150mm以上170mm以下のリヤキャリアが必要となります。
- 運搬用の実用車などに装着されている、特別な形状のリヤキャリアには取り付けできません。
- ブリヂストンサイクルが販売している、アンジェリーノミニ、アンジェリーノR、HYDEE.B、HYDEE.II、bikkeシリーズのリヤキャリアには取り付けできません。

⚠ 警告

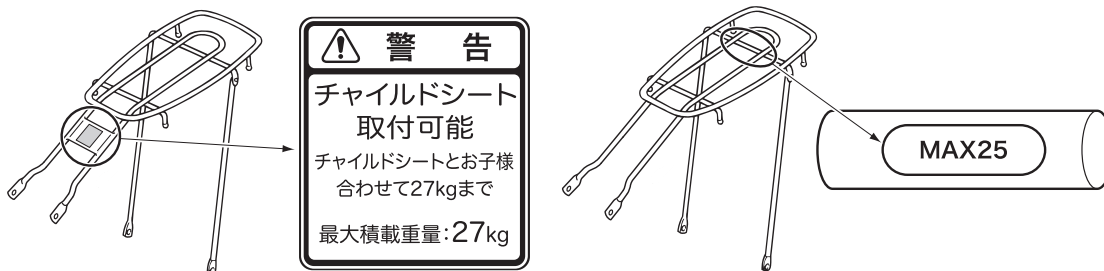
- 「はしご形」のパイプキャリア等、外枠のみでチャイルドシート取付金具を組み付ける場合、取付金具が反って変形してしまう場合があります。その場合、ご使用中の振動等で、取り付けが緩みやすく、大変危険ですので、チャイルドシートは取り付けないでください。



※一般のシティ車に標準装備されているリヤキャリアはMAX18kg表示が多いので、リヤキャリアの強度区分をご確認し、P.2表の使用範囲を守ってください。

※リヤキャリアの強度（最大積載質量）が十分でない場合は、自転車販売店で十分な強度のあるリヤキャリア（クラス25以上）に交換してください。

※リヤキャリアのクラス表示は、リヤキャリア本体に刻印またはプレートに表記されています。
クラスの表示位置（例）

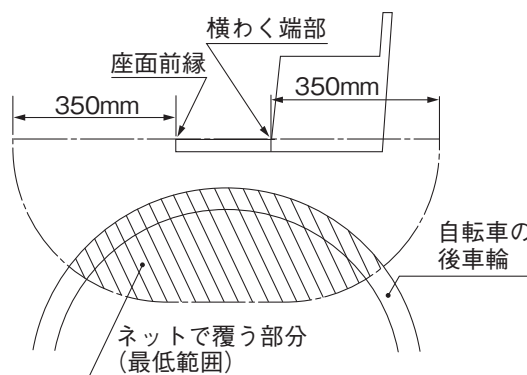


※リヤキャリアに表示されている最大積載質量は必ず守ってください。

2. チャイルドシートを装着する自転車について

取り付け可能な自転車については下記のとおりです。

- ①自転車の表示、取扱説明書を確認して、その自転車がチャイルドシートの取り付けが可能かどうか確認してください。自転車にチャイルドシートの取り付け可否の表示のない自転車は、SG規格適合自転車対象外になるため、取り付けできません。自転車の取扱説明書で判断できない場合は、自転車販売店にご相談ください。
- ②必ずロック付きの両立スタンドの自転車をご使用ください。
1本スタンドやロックのないスタンドの自転車には使用しないでください。
- ③足の巻き込み防止のために必ずドレスガードまたは足巻き込み防止ネット等を取り付けてください。ドレスガード等の無い自転車にはドレスガード等を必ず取り付けてください。右図の範囲（幼児の足の可達範囲）をカバーするドレスガードまたは足巻き込み防止ネット等を取り付けた自転車を推奨します。



④3人乗り（幼児2人同乗）自転車に取り付ける際は販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書を
確認し、取り付ける自転車がこのチャイルドシートを幼児2人同乗基準に指定している場合には取り
付けることができます。

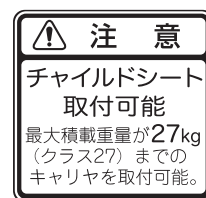
⑤小さい自転車ほど取り付け位置に制限ができたり、使用した時に安定性が低下しますので、ご注意く
ださい。

⑥ブリヂストンサイクルが販売する自転車で、チャイルドシートの取り付け可能なものは、20インチ以
上27インチ以下のサイズのシティ車（婦人用軽快車）でブリヂストンサイクルが指定する車種に限
ります。

また、ブリヂストンサイクルが販売する車種で、チャ
イルドシートが装着可能な車種には、フレームタイ
の立パイプに、右記マーク（タフマーク、コーション
マーク）が貼付されています。



タフマーク

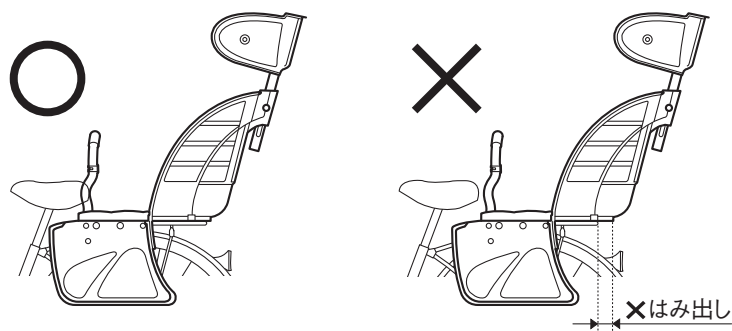


コーションマーク

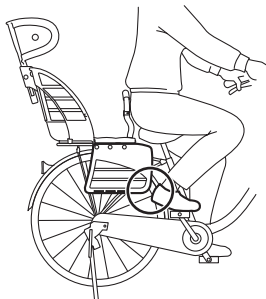
3. 取り付け時の注意

⚠ 注意

- 安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店で取り付けをお願いします。
- 一般のシティ車に取り付けるチャイルドシートは1つに限ります。
- 幼児2人同乗用自転車に取り付けるチャイルドシートは、前後各1つに限ります。
- 自転車のリヤリフレックスリフレクタの後方からの視認の妨げにならないように取り付けてください。
- チャイルドシートをリヤキャリアの後方に取り付けますと、破損の危険や重心が不安定になるおそれ
がありますので、必ずサドルに近づけて（可能な限り）取り付けてください。



- ペダルをこいだ時にカカトなどが触れない位置に取り付けてください。



- 走行中に自転車錠が作動すると危険ですので、自転車錠にお子様の手足が届かないように注意してく
ださい。
- 取り付け時は、ネジやナットを確実に締めてください。

ご使用時の注意

⚠ 注意

- 自転車にチャイルドシートを取り付けてお子様を同乗する場合、取り付けてない場合と比較して自転車のハンドル操作性、走行安定性、制動性能が低下します。
このため、事前に安全な場所で、十分に走行練習してからご利用ください。
- チャイルドシートのシール表示や取扱説明書をご確認の上、ご使用ください。

1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は

⚠ 警告

- お子様の体重、年齢、身長等の範囲をお守りください。
- 本体、フットレスト、グリップ、ヘッドガード、リヤキャリアの取り付けネジ等が、しっかり締まっているか、日常点検を行ってください。
- 使用するときはチャイルドシート及びリヤキャリアが確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。また、シートベルトが傷んでいないか確認してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。着用しない場合、事故時に重傷あるいは死亡につながるおそれがあります。着用した場合、軽傷ですむことが報告されています。また、運転者もヘルメットを着用するようおすすめします。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- 夏の炎天下では、直射日光が当たるシートクッションの温度は高温となります。自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。
- 一般のシティ車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り（幼児2人同乗）の自転車に同乗できるお子様は2人までです。それぞれの自転車で使用できるお子様の年齢、体重、身長の範囲を守ってください。
- 自転車を停車（駐輪）する場所は、スタンドを立てたときに安定する場所を選んでください。またスタンドのロックも必ずかけてください。自転車が倒れ、事故またはケガにつながるおそれがあります。
- この商品はSGマーク認定基準を満たしていますが、大きな衝撃が加わると破損・変形・クラック等が発生することがあります。一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用をやめ、十分点検してください。（また、販売店に点検を依頼してください。）
- 特に、足乗せ部分は、このような衝撃に対して、ダメージを受けやすい部位となりますので、十分点検をおこなってください。
例：ダメージを受けた足乗せは、嵌合部が外れたり、白化や亀裂が生じます。

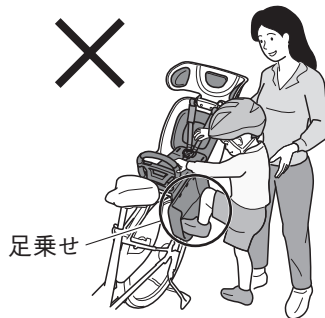
2. お子様をチャイルドシートへ乗せ降ろしするときは

⚠ 警告

- お子様を乗せる際は、必ず荷物を積んだ後に乗せてください。
お子様を降ろす際は、必ず荷物を降ろす前にお子様を降ろしてください。
- お子様を乗せるときには必ず正しい姿勢になっている事を確認し、特に足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。
- お子様1人でチャイルドシートに乗り降りしないように注意してください。自転車が倒れるおそれがあります。特にフットレスト（足乗せ）に体重をかけて乗り降りすると、フットレストに大きな負担がかかり、こわれやすくなります。



お子様を抱いて乗せ降ろしてください。



足乗せをステップ（踏み台）としてご使用しないでください。

- ハンドルロック機構のある自転車は、ハンドルロックをした後にスタンドを立ててください。
- お子様をチャイルドシートから降ろした後は、シートベルトをバックルに嵌めてください。
外した状態で走行すると、ベルトが車輪に絡まり車輪が損傷したり、転倒するおそれがあります。

⚠ 注意

- 荷物ガードが確実に収納されているか確認してください。荷物ガードが開いている状態でお子様を乗車させないでください。

3. お子様をチャイルドシートに乗せたら

⚠ 警告

- 必ずシートベルトを使用してください。
- シートベルトはお子様の体格や服装に合わせ、長さを調整してください。
- お子様の首にシートベルトがかからないように注意してください。
- ヘッドガードは必ず適正な高さで使用してください。
ヘッドガード上端が頭部の中心（耳の上）より高くなるように調整してください。
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

- リクライニング板およびフットレストは必ずお子様の体形にあった位置に調整してください。

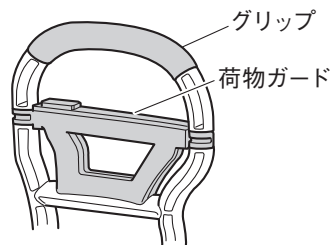
4. 走行時は

⚠ 警告

- 傘を差しながらの片手運転など、危険な行為は絶対に行わないでください。



- お子様が乗車中はグリップを握らせてください。荷物ガードを握らせると、スキマに手・指をはさむおそれがあります。



- お子様が眠らないように注意してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- お子様が走行中に自転車用錠やベルトバックル、スマートフィッターを操作しないように十分注意してください。
- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。



- 走行中にお子様がチャイルドシートの中で立ち上がったリ暴れたりしないよう、注意してください。
- 使用に当たっては交通法規を守ってください。

5. 保管のしかた

⚠ 警告

- シートベルトは消耗品です。異常がなくても2年に1度は新品と交換してください。(有料)
なお、シートベルトの交換につきましては、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。

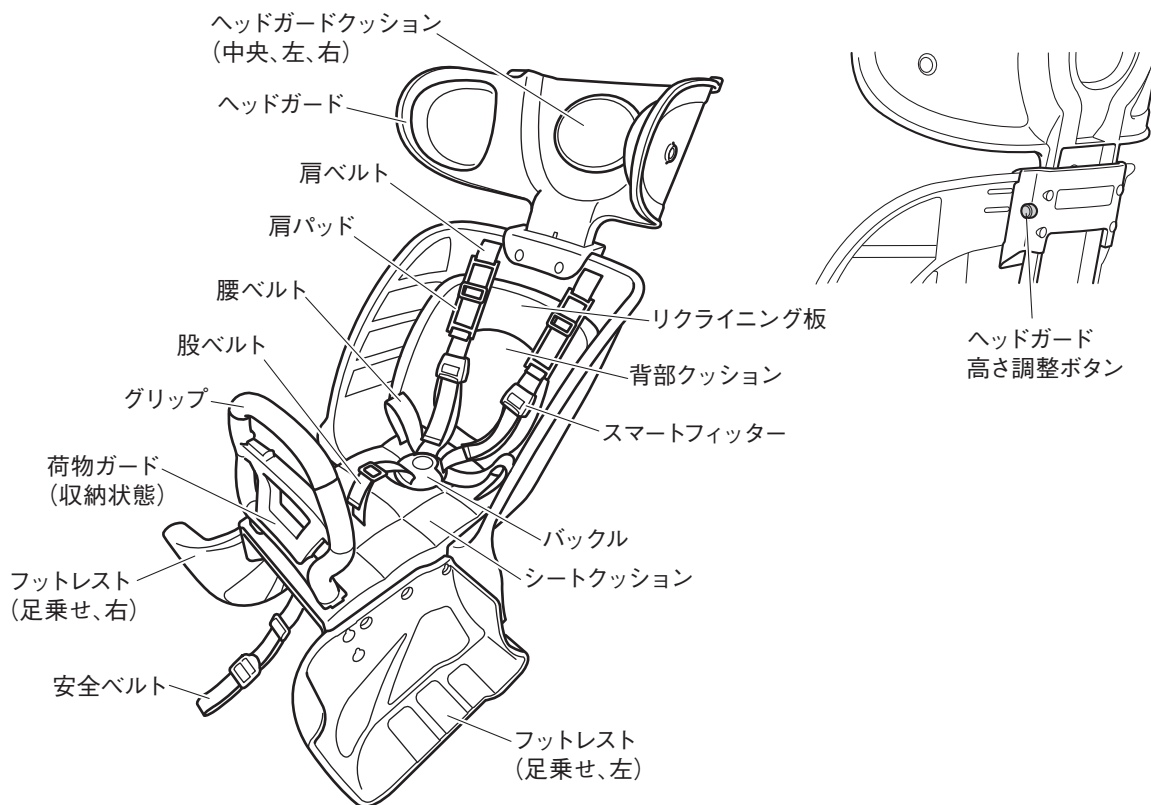
⚠ 注意

- 駐輪時などで、自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシートのフットレストやグリップを持って持ち上げないでください。想定外の負荷により、フットレストやグリップが破損する場合があります。
- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪、保管し、雨ざらしにしないでください。早期劣化の原因となります。



- シートクッションのお手入れ方法
シートクッションや背部クッションが汚れた場合は、水を含ませて絞ったタオルなどで拭きとってください。

各部の名称



チャイルドシートの操作方法

1. シートベルトの調整

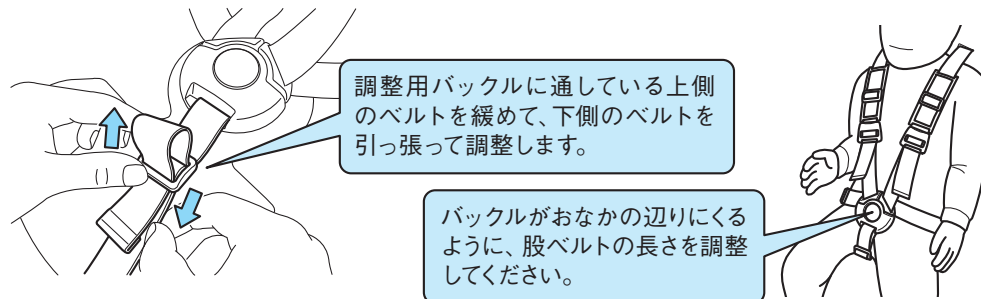
⚠ 警告

- お子様を乗せた時には、必ずシートベルトを使用してください。
- お子様の体格や服装に合わせ、シートベルトの長さを調整してください。

⚠ 注意

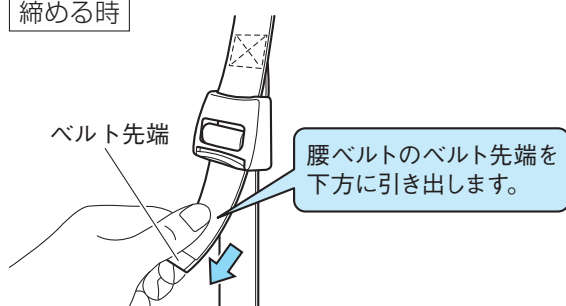
- お子様を乗せていない時でもシートベルトのバックルをはめるようにしてください。(バタツキ防止のため)

① 股ベルト調整用バックルを操作して、股ベルトの長さを調整します。

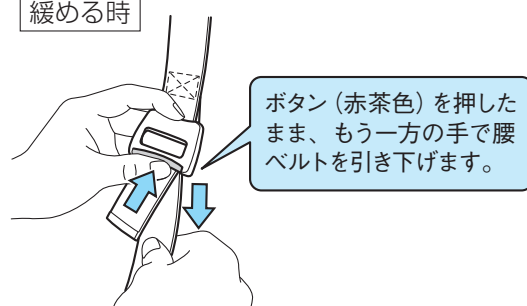


②スマートフィッターを操作して、腰ベルトの長さを調整します。

締める時



緩める時



〈シートベルト調整時のポイント〉



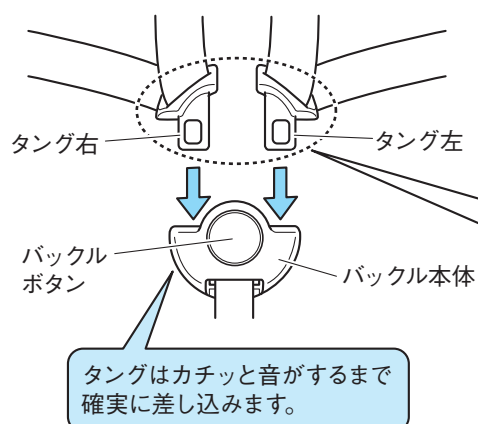
⚠ 注意

必ず左右のシートベルトの長さが均等になるように調整してください。

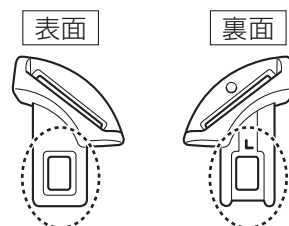
2. バックルの固定・解除

●タングは左右別々に固定し、左右同時に解除することが出来ます。

固定する時



タングは表面をバックルボタン側に向ける
(図はタング左、タング右も同様)

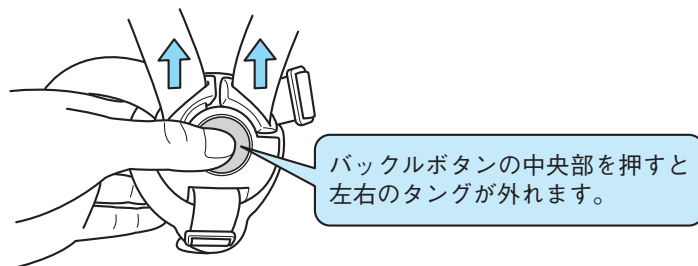


裏面は差込部の間中部に
金属が見える

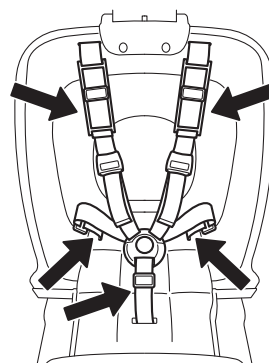
⚠ 警告

●タングを差し込んだら、左右のタングを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

外す時



- ベルト長さ調整時及び使用時は肩、腰、股ベルトがねじれていないことを確認してください。



3. ヘッドガードの調整

⚠ 警告

- ヘッドガードは外した状態で使用しないでください。

- お子様の体格に合わせて、ヘッドガードの高さを調整してください（可動範囲：約8cm）。

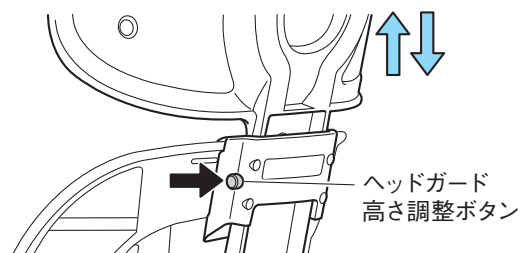


高くする時

- 側面のヘッドガード高さ調整ボタンを押しながら
ヘッドガードを引き上げます。

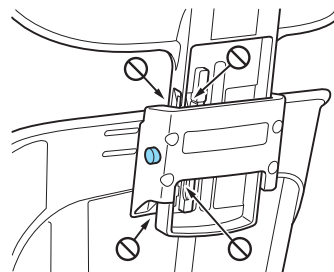
低くする時

- 側面のヘッドガード高さ調整ボタンを押しながら
ヘッドガードを押し下げます。



⚠ 注意

- ①→で指した隙間に指をはさまないように注意して
ください。
- お子様を乗せている時は、お子様の手などを隙間に
はさまないように注意してください。



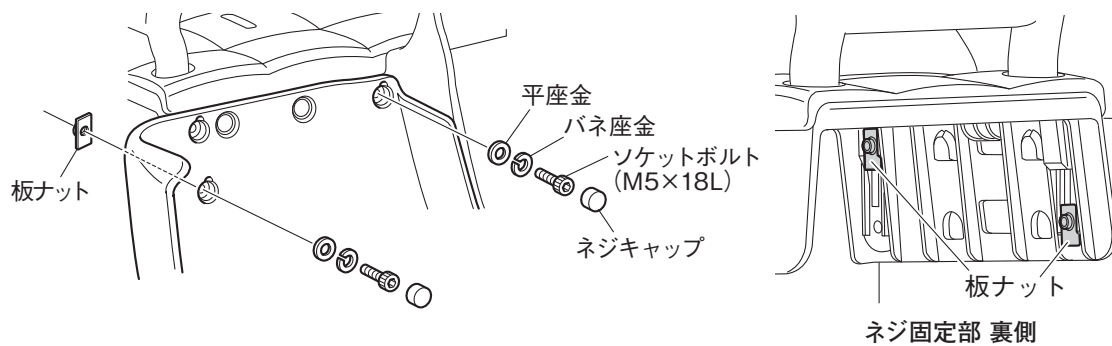
4. フットレスト(足乗せ)の高さ変更方法

⚠ 注意

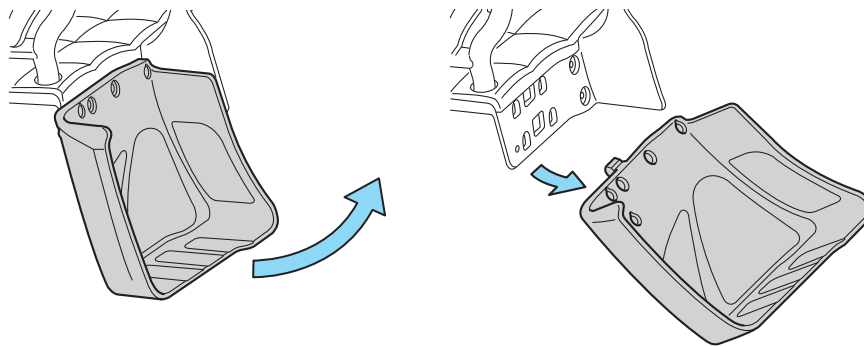
- 高さ変更は販売店にご依頼ください。

- ①マイナスドライバー等でネジキャップを外し、ソケットボルトをアーレンキー(六角レンチ)で外してください。

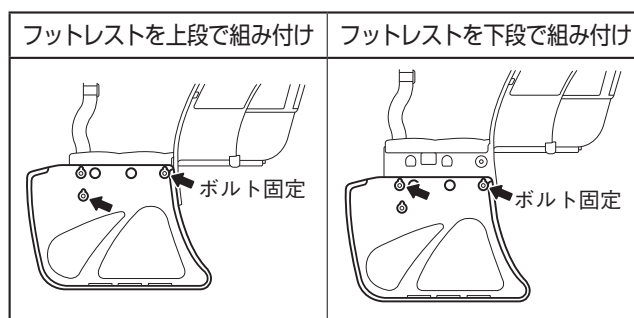
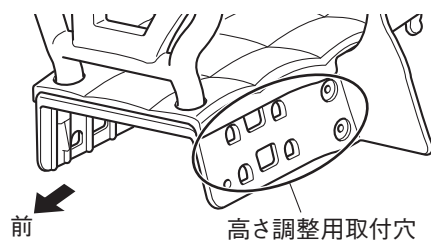
ボルトを外す際は、固定部裏側の板ナットが落下しますので、紛失しないように注意してください。



- ②フットレストの下側を持って外側に回転させながら、フットレストを本体から外します。



- お子様の体格に合わせ、フットレストの高さを上下2段階に調整することができます。



⚠ 注意

- 必ず左右のフットレストが同じ高さになるように組み付けてください。

- 調整方法は組付説明書(別紙)をご確認ください。

5. 背もたれ角度・座面の調整

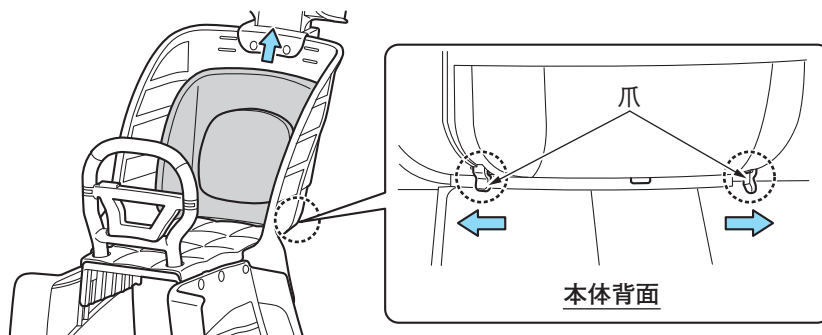
- お子様の体格に合わせ、リクライニング板を外すことにより、背もたれの角度を立てて座面を広くすることができます。

⚠ 警告

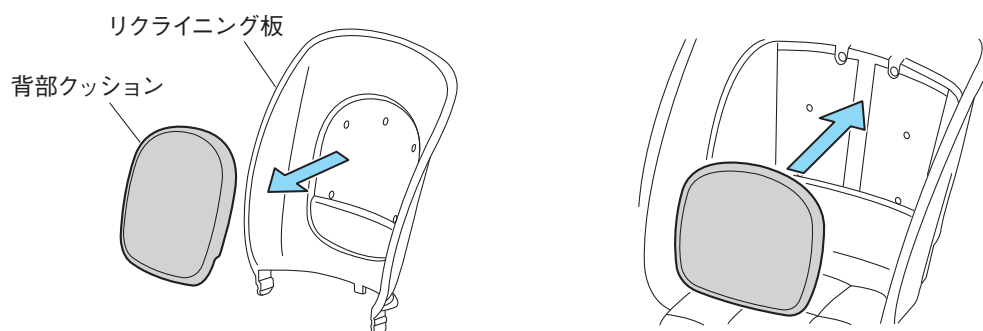
- 2歳未満のお子様を使用する場合は、リクライニング板を外さないでください。

座面を広くするとき（リクライニング板の外し方）

- ①本体下側2箇所につっかかっているリクライニング板の爪を外側に押し広げながら、上方に押し上げて、リクライニング板を本体から外します。



- ②リクライニング板に装着している背部クッションを剥がし取り、本体背もたれ部のクッション取り付け穴に背部クッション裏側の突起を差込み、背部クッションを本体に固定します。

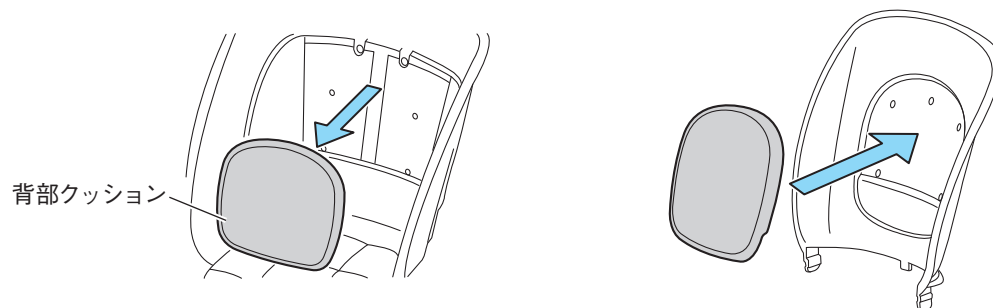


⚠ 注意

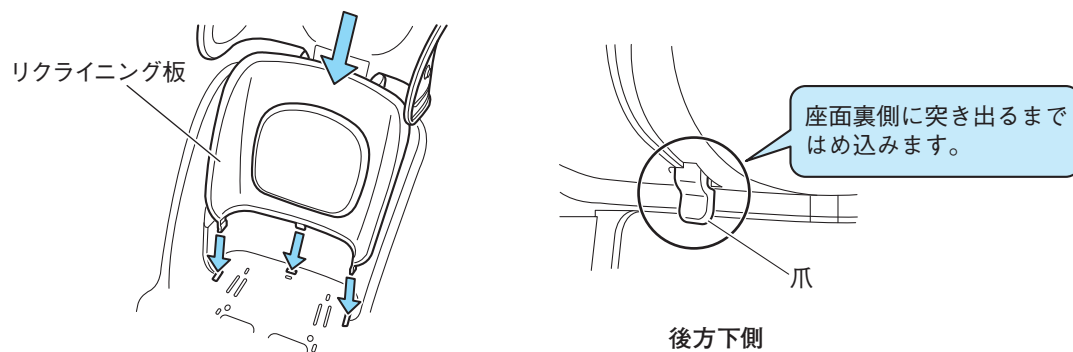
- 取り外したリクライニング板は使用しませんので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

座面を狭くするとき（リクライニング板の付け方）

- ①本体背もたれ部に装着している背部クッションを剥がし取り、リクライニング板のクッション取り付け穴に背部クッション裏側の突起を差込み、背部クッションをリクライニング板に固定します。



- ②リクライニング板の下側の爪（3箇所）を本体の取り付け穴に合わせ、リクライニング板上部を本体背もたれに押し付けながら、リクライニング板を本体に差し込みます。



⚠ 注意

- リクライニング板が確実に固定されたことを確認してください。

6. 簡易バスケットとして使用する場合

- グリップに収納されている荷物ガードを使用することにより、簡易的に荷物をのせることができます。

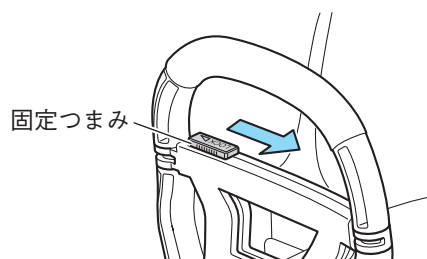
⚠ 注意

- 簡易的な機能ですので、荷物の落下にご注意ください。

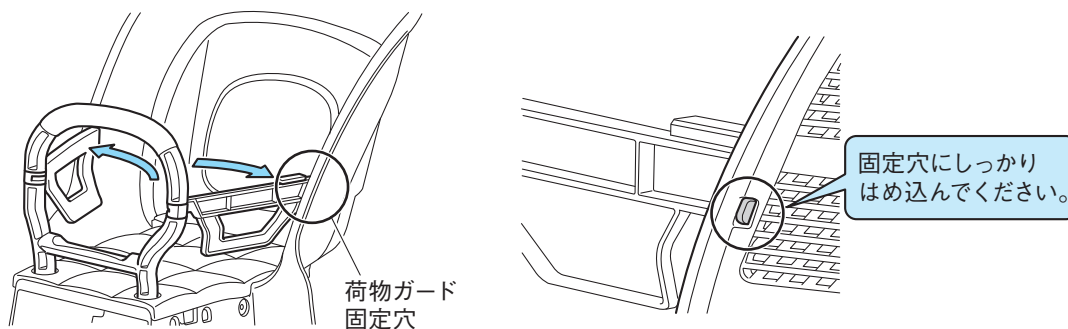
荷物ガード収納状態	荷物ガード使用状態

荷物ガードを使用するとき

- ①グリップの下にある荷物ガード固定つまみをLOCK方向と反対方向にスライドさせます。

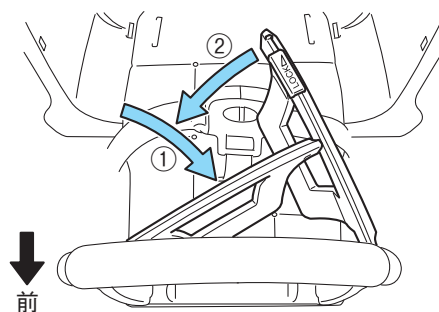


- ②荷物ガードを左右に開いて、荷物ガードの先端を本体の荷物ガード固定穴にはめ込みます。



荷物ガードを収納するとき

- ①荷物ガードを本体の荷物ガード固定穴から外し、荷物ガードを自転車右側⇒左側の順序にたたみ、グリップに収納します。



- ②荷物ガード固定つまみをLOCK方向にスライドさせ、収納した荷物ガードをロックします。



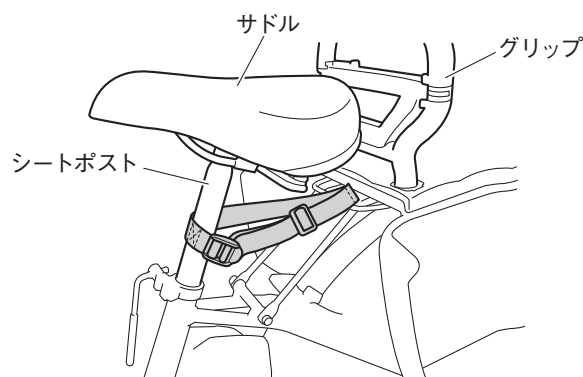
7. 安全ベルトについて

⚠ 警告

- 安全のため、安全ベルトは必ず使用してください。
※安全ベルトは万一リヤキャリアが破損した際のチャイルドシートの落下を防止します。
- 日の字バックルを通した安全ベルトを安全ベルトバックルに通した後、再度、日の字バックルに通してください。安全ベルトのゆるみを防止します。

⚠ 注意

- 安全ベルトはぶら下げたままにしないでください。
- 安全ベルトの余った部分はタイヤなどに巻き込まないように日の字バックルで調整してください。



- 調整方法は組付説明書（別紙）をご確認ください。

品質保証書

この製品は厳重に検査され出荷されたものです。
保証期間内にお客様の正常な使用状態（取扱説明書などに記載されている注意書きに従った使用状態）で不具合が生じた場合は、同等製品と無償交換いたします。

本保証書はお買い上げの年月日、販売店名、販売店住所、販売店電話番号を販売店が記入捺印することにより有効となります。

商品と本書及び商品名、販売名、販売日（購入日）が証明できる書類（レシート等）を合わせてお買い上げの販売店にご持参ご提示の上交換をご依頼ください。

なお本保証書は紛失されても再発行はいたしませんので大切に保管してください。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※次に示すものに起因する不具合は保証の対象となりません。

- （１） 使用者の使用上の不注意および取扱説明書などに記載されている注意書きに従わない使用によるもの。
- （２） 使用者が構造・機能を改造または変更したため生じたもの。
- （３） 一般的に機能上影響の無い感覚的現象。
- （４） 使用目的以外の酷使。
- （５） レンタサイクルなど不特定多数で使用される場合。
- （６） 地震、落雷、火災、水害、公害等人災、天災、地変によって生じたもの。
- （７） 保管場所の不備、転倒や落下及び時の経過により生じた不具合及び自然退色。
- （８） 製品の通常の摩擦又は疲労と認められたもの。
- （９） 盗難目的による破損。
- （１０） 本商品の故障に起因する二次的故障や損傷。

本商品の不具合に起因する付随的費用（本商品を販売店に持ち込む為に要した費用等）につきましては責任を負いかねます。

商	品	名			
品	番				
略	号				
保	証	期	間	お買い上げ日より1年間	
お 買 い 上 げ 日			年	月	日
販 売 店	氏	名			
	住	所			
	電	話	番	号	

ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室

受付時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00
（土・日・祝日及び弊社指定休日は休み）

フリーダイヤル：☎ 0120-72-1911
（国際電話・インターネット電話
でのご利用はできません。）

IA01-201
5, B